

いきいき 亀山

12月
定例会
の報告

2025年1月発行 日本共産党亀山市議団



12月定例会はインフルエンザが蔓延する中なんとか予定通り閉会を迎えました。16件の議案が上程され、共産党議員団としては国保税の課税限度額の引き上げの議案一件について反対をし、他の議案については賛成をしたところ。また『選択的夫婦別姓制度の議論の活性化を求める意見書採択を求める請願』は賛成多数で採択され、国に意見書が提出されました。

食缶搬入方式の中学校給食 先延ばしすれば事業費が増大

市長選を控えた12月定例会で、中学校給食を問わないわけにはいきません。一旦、センター方式の給食が決まっていたのに、一転して県下に例のない民間委託の食缶搬入方式の給食となったからです。理由が、センター建設にかかる費用が財政を圧迫する懸念とのことであり、それならばその責任は教育長ではなく市長にあります。

市議団としては、教育として関中学校と格差のない当たり前の給食ができることや防災の観点からも、自前の給食施設を持つべきと訴え続けてきました。遠い桑名からの食缶搬入方式の給食だからこそ新たにかかる費用もあり、資材の高騰は今後も考えられ、先延ばしにすればするほど事業費の増大が考えられます。



普通の給食までさらに20年！ 誰が責任を取るのか？

福沢みゆき議員は一般質問で、この事業費増大が考えられる民間委託の食缶搬入方式の給食を、一体何年間なら財政的に問題がないと考えているのか聞きました。(教育委員会もいつかは給食施設が必要との見解)

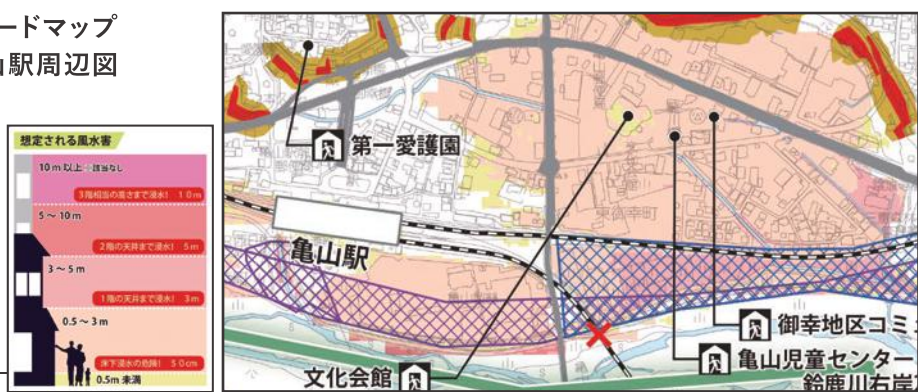
市庁舎は亀山駅周辺に建設すべきではない 最大3mの浸水を想定

昨年12月定例会で服部こうき議員は、一般質問で新庁舎建設問題を取り上げました。

服部：建設予定地の亀山駅周辺は、市の風水害ハザードマップで最大3mの浸水が想定され、竜川の水が溢れるバックウォーター現象も考慮されていない。亀山駅周辺に市庁舎を建設して大丈夫なのか(写真は市の風水害ハザードマップ)。

市：防災拠点として万全となる安全性の確保を図っていくので安全性は確保できる。

亀山市風水害ハザードマップ
亀山駅周辺図



庁舎建設にいくら注ぎ込むつもりか

服部：亀山駅周辺は地価が最も高く用地取得だけでも市の試算で14億4,500万円かかる、また移転補償費もある。さらに浸水対策、液状化対策もある。財政が厳しいと言いつつ、庁舎建設にいくら注ぎ込むつもりか、これでも適地なのか。

市：費用はかかるが将来の都市づくりを踏まえ、慎重に判断していく。

検証結果で計画の変更も

服部：昨年6月定例会で『新庁舎、ごみ施設、し尿処理施設、学校施設の改修という4つの大規模施設整備があるので、これが実現可能か検証したい。その上でスケジュール、規模を考える』という答弁はどうなったのか。

市：検証結果を3月定例会までに示せるよう努力したい。

服部こうき議員は亀山駅周辺に建てるべきではないと強く求めました。

市長は「コストをトータルでみて20~30年のスパンの中でクロスするのだろう。」と答弁しました。

新市になり20年を過ぎてやっとの給食実施、次の施設建設を見通した当たり前の給食まで少なくともさらに20年近くの歳月をかけるというのでしょうか。あまりにも無責任な市長答弁です。

亀山市の会計年度任用職員の報酬単価が安すぎる

亀山市の職員のうち会計年度任用職員の率、いわゆる非正規率は約5割であり、その割合の高さについても常に指摘していますが、福沢みゆき議員は、一般質問で会計年度任用職員の報酬単価の低さについて取り上げました。

会計年度任用職員の報酬単価		
職種	報酬(時給)	三重県内の順位
保育士	1,030円	10位/10市中
看護師	1,250円	12位/13市中
保健師	1,250円	12位/13市中
介助員	1,030円	8位/11市中

資格に応じた報酬にすべき

県下14市の中で可能な限り同じ条件で比べてみると、表の通り亀山市の保育士・看護師・保健師などの報酬単価はとて安いかがわかりました。報酬単価は取得されている資格に対する評価でもあるので、同じ資格を持つ正規職員の評価にもつながるものです。低すぎる単価は引き上げるべきです。

また最低賃金の引き上げ時、低い職種のみ引き上げることを繰り返してきたため、たとえば保育士とその資格がない介助員が同じ報酬単価になってしまい来年度までそのまま放置されることは問題です。

福沢みゆき議員は、いわゆるケア労働と言われる分野で働く人々のやりがい搾取にならぬよう、真剣な取り組みを強く求めました。



2回の政治資金パーティで1千万円の収入

服部こうき議員は一般質問で、櫻井市長の政治資金と政治姿勢を質しました。

服部：三重県公報によれば、市長に初当選した直前に市長の資金管理団体が2回の政治資金パーティを開き1千万円の収入を得ているが、そのうち半分が市内の建設業者からだった。そしてこの収入を櫻井よしゆき後援会に寄付し、後援会活動に使っている。こうしたお金は適法であっても道義的責任があるのではないか。

市：適法に処理しており問題ない。李下に冠を正さずということで市長就任時にこの団体を解散している。

政治団体の平成20年中の収支に関する報告書の要旨の公表		
ふるさと21世紀を映かす会		
資金管理団体の届出をした者の氏名	櫻井善之	
資金管理団体の届出に係る公職の種類	市長	
報告年月日	平成21年3月12日	
1. 収入総額	10,260,913円	
前年繰越額	52,266円	
半年収入額	10,208,647円	
2. 支出総額	10,260,913円	
3. 翌年への繰越額	0円	
4. 収入の内訳		
機関誌の発行その他の事業による収入	10,208,000円	
第10回みえ21世紀セミナー	4,218,000円	
第11回みえ21世紀セミナー	5,990,000円	
その他	847円	
1件10万円未満のもの	847円	
5. 支出の内訳		
政治活動費	10,260,913円	
組織活動費	77,127円	
機関誌の発行その他の事業費	1,068,149円	
政治資金パーティー開催事業費	1,068,149円	
寄附・交付金	9,114,637円	
6. 寄附の内訳		
7. 政治資金パーティーの開催に係る収入の内訳		
(有)河村設備	400,000円(亀山市)	5,000,000円
福山建設(株)	1,000,000円(亀山市)	
福田スポーツ開発(株)	1,000,000円(亀山市)	
山内屋	200,000円(亀山市)	
島内建設(株)	500,000円(亀山市)	
(有)山内建設	500,000円(亀山市)	
(有)川内建設	500,000円(亀山市)	
(有)本城建設	500,000円(亀山市)	
(有)エクセルタナカ	200,000円(亀山市)	200,000円(鈴鹿市)
近藤緑化(株)	200,000円(鈴鹿市)	

業者からの献金は市政運営に影響を与えたのではない

服部：こういうお金をもらってれば、その後の市政運営に影響が出ると考えるのが自然だ。

市：公平公正な市政運営を李下に冠を正さず、信なくば立たず、そのモットーで公平公正な職務の遂行に努めてきた。

服部こうき議員は、「李下に冠を正さず」はそのまま市長にお返しすると述べ、こういう献金を受けたことを反省すべきだと指摘しました。

市政や暮らしの相談、ご意見は

服部こうき
 でんわ 82-3646
 メール kouki.giin@gmail.com

福沢みゆき
 でんわ 080-3636-9190
 メール fukuzawa2138@gmail.com

この市議団ニュース「いきいき亀山」は
政務活動費を使って発行しています。

市議団ホームページ 議会映像インターネット配信

